



今月の視点

571号

## 「多様性が活性化へのエネルギー(経営計画書の策定)」 ～我々の使命は「お客様のより良い会社づくりへのベストパートナー～」

### (1) なぜ、私たちは経営計画を作るのか？

今、この時にウクライナ侵攻、コロナの収束も間近？と置いていたら第8波、思わぬ為替変動とインフレ・・・。世情、想定外の出来事だらけです。でも、将来予測でなく私たちは目標を持ち、研鑽を続けます。夢や理想を「目標」にすると叶う。それに行動計画と時期を入れます。経営計画策定が大切です。

また、宗教団体と政治家との関係が問題となっています。宗教は世界的には一神教が多いようです。権威主義と思われる国家も世界にはたくさんあります。

日本は民主主義国家です。民主主義とは国民の多数の意見を反映した政策選択をするという政治体制です。つまり、意見を聞いた上での多数決を原則とする制度です。

当然に反対意見が半数近くになることもあるでしょう。だから、多数派と言えども少数意見も汲みとって上手く調整することを求められます。

多数派が少数派を無視してやり過ぎると国論が2分されて騒然とした状況も生じます。多数決を原則としながら少数意見も尊重する。これが安定した民主主義政治と言うものです。

この政治に対して宗教の考え方は異なります。特に一神教です。一神教としてユダヤ教、キリスト教、イスラム教などがあります。一神教の神は絶対です。絶対と言うことは過ちを犯す事がなく他に並ぶものがないと言う事だと思います。

例えば熱心なキリスト教徒ならば、キリストの教えは100%絶対です。だからキリスト教徒が「キリストの90%は良い教えだけど10%は間違っている。」とは絶対に言いません。

でも、多様な意見を自由に言える社会は繁栄してきました。多様性が活性化のエネルギーです。会社での経営計画で、様々な意見が出るのが「より良い会社創り」へのポイントです。

私共の事務所は多方面にわたるサービス提供を提供するワンストップ対応を目指しています。すごい！の一点を求める特化主義型の事務所か、お客様にとっての全方位であるワンストップ型を求めるか、です。

あれもこれもムリ、税務に特化すべきだ！という人もいます。でもどうでしょう、100点満点の人はいません。色々な考え方があります。ある考えとはちがう真逆の考えもあります。その真ん中があります。中庸の精神も大切です。各々の発想もそれぞれ、今風でいえば多様性です。

ならば、各人各々の良さを出して税務、財務、労務、行政、経営、各々の、意見を出し合い分析をやりましょう。一人でやるとつらい、そして特化型業務だと100点満点めざす必要があります。これも大変です。それよりも様々な分野で80点をめざす。これは楽しい、

達成感あり、おもしろい、みなでやってるから明るく笑うことができる、結果各々分野で成果が出ます。皆さんものぞんでいることでしょう。

お互いの良さを認め合う、協調性があると楽しい仲間です。でも、一つの分野で成果を出すのはそれなりに大変です。私は好奇心が強い一方でその上あきるのも早いのです、ただコツは人と仲よくしてその後のマネをすることです。書物を読んで身につけるのは大変、人のマネ、キーワードを見つける、それに肉をつける。これで50点あとは興味のわいた分野ならば+αで80点、これでビジネスになります。「オリジナル」にこだわらずに他社の「マネ」をして身につけましょう。そして、3年続ければ「オリジナル」になります。

みなでやると時間を忘れて楽しい、みなでやるとおもしろい、みなでやると明るく笑える、その仲間になるキッカケはアイサツです。アイサツはギリではなく、あなたが大好きです、その表現です。うちの事務所ではアイサツが経営計画書の行動指針の一番に書いてあります。仕事はやらなくてもアイサツはシッカリ明るくやりましょう。

経営にとっての「お困りごと」は多面にわたります。その一つ一つの課題解決が私共の喜びです。社内の協調性を大切にすれば、各人の良さを取り入れていけば「省エネ」・生産性アップです。

給与アップしながら人件費分配率が下がる、という相反するすることが「より良い会社創り」への入り口です。社員のやりがい、顧客の満足感、当社の安定性という「三方良し経営」になります。

## (2) 経営計画の取り組み方

稲盛和夫氏はすごい!!「運命は変えられる」「中小企業に不況はない」「経営力は人間力」「利他の精神」「人に負けない努力」などと明るさを提供してくれた稲盛語録に共感です。特に、人生の方程式は能力以上に、前向きな考え方が大切だ、は感動ものです。明るいアイサツ、先手が前向きな考え方になります。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{熱意} & \times & \text{考え方} & \times & \text{能力} & & \\ 0\sim 100 \text{点} & & \Delta 100 \text{点} \sim +100 \text{点} & & 0\sim 100 \text{点} & = & \text{人生の結果} \\ \text{最も大事} & & \text{2番手に大事} & & & & \\ \text{※考え方が悪ければマイナスになる} & & & & & & \end{array}$$

私たちは青春真っ只中、伸びしろはあり、更に成長します。

上記のように、人間の行動においては考え方に大きく影響されます。人間は素質・環境・出会いという3つの運に影響されます。その人の考え方で「自分は運がいい」という信念を持てば、誰でも幸運に恵まれることができます。

結局、運とは自分の意識と努力で変えることができます。人間の運にはそれほどの違いはないと思います。自分の運を「いい」か「悪い」と見るかの違いしかありません。

大切なのは、運が悪い時にも運がいい、失敗したときは自分が悪い、うまくいったら運が良かったと考えて行動すると運はどんどん良くなります。

失敗を運や他人のせいにはしない心のクセが、運をよくする鉄則なのです。

質問	回答	具体例
計画を立てる目的は?	〇〇を達成することです	ビジョン
達成するために何をします?	限られた条件の中で達成方法を考える	計画
いい方法を思いついたら?	紙に書き出し、それを実行する	行動
計画通りいかなかったら?	無理がなかったか、計画の見直し	検証

P→D→C→A サイクルを回すことを意識して定期的に検証を行ない、予実管理を行い、計画と現実のギャップを把握して改善行動を実施し、未来の「あるべき姿」に近づく「やり抜く力」を意識しましょう。

(3) 経営計画のうまくいかない要因

- ①ビジョンを理解しているか → 策定時に参画していない
- ②目標達成後のメリットが感じられない → 三方良しの理念がわからない
- ③経営数字が理解されていない → 目標を細分化することで「自分ごと」として感じる
- ④進捗チェックをして課題を出さない、改善しない、時間がとれないの言い訳。 → どうしたらやれるかを考えよ

本年は計画づくりを実践して、検証、予実管理、協調性そして顧客、社員社会、の三方良しの還元です。

私たちは青春真っ只中、伸びしろはあり更に成長します。

新年度にあたり皆様方への挨拶といたします。本年もよろしく願いいたします。

以上

みらい経営グループ代表 石川 光男

**1月の税務と労務**

- |                                   |            |
|-----------------------------------|------------|
| ・ 1 1月の決算法人の確定申告、消費税など納税          | 期限(1月 31日) |
| ・ 5月の決算法人の中間申告、納税                 | 期限(1月 31日) |
| ・ 5月の決算法人の消費税の中間申告                | 期限(1月 31日) |
| ・ 1 2月分源泉所得税納付                    | 期限(1月 10日) |
| ・ 下期(納期の特例適用者 前年7月～12月)分源泉所得税納税納付 | 期限(1月 20日) |

税理士法人みらい経営（発行元）

税理士・中小企業診断士 社会保険労務士・行政書士 石川 光 男

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

TEL052(651)6000 FAX052(652)0066

MAIL [ishikawa@ishikawakk.or.jp](mailto:ishikawa@ishikawakk.or.jp) HP <https://www.mirai-kg.com/>